

# 稲敷市立江戸崎中学校グランドデザイン

## 本県教育の目標

- ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

## 新しいばらき教育プラン

## 校訓

自主・協同・責任

本校の教育目標 気力・知力・体力の豊かなたくましい生徒の育成

## 学校像

規律ある学校  
活力ある学校  
一体感のある学校

## 生徒像

進んでみんなのために行動する生徒  
目標を持ち計画的・継続的に学習する生徒  
健康で、自ら鍛える生徒

## 教師像

使命感と情熱をもつ教師  
指導力のある教師  
子どもの気持ちを理解できる教師

## 中学校学習指導要領

### 稲敷市教育振興基本計画

- 家庭・地域・学校の連携
- 未来に羽ばたき、自立的に生きる「いなしきっ子」の育成
- 豊かな心と健やかな体の育成
- 生涯を通じて学び、地域社会に参画する生涯学習社会の構築
- 質の高い教育環境の整備

## 《経営の基本構想》

### 経営方針 「生涯にわたって夢を追い続けられる生徒を育てる学校」づくり

- I 課題解決型の授業と個に応じた指導を通して自己評価能力を高め、確かな学力を育てる教育を推進する。
- II 生徒主体の活動を通して自治力と公德心を育てる教育を推進する。
- III 自己実現を目指す自主的・自立的態度を育てる教育を推進する。
- IV 丈夫でたくましい心身を育む教育を推進する。
- V 生徒との信頼関係を基盤とした生徒指導を推進する。
- VI 地域に信頼される開かれた学校づくり、安全・安心な学校づくりを推進する。

組織目標：一人一人とのかかわりを重視しながら生徒主体の活動を活性化させ、より高い目標の実現に向け 計画的・継続的に努力するとともに、進んで地域や学校のために行動しようとする態度を育てる。

## 《重点項目》

### 《学校重点項目①》

#### 確かな学力向上プロジェクト

- ◎ 課題解決型の授業を展開し、個に応じた指導を充実させることにより、自己評価能力を高め、より高い目標の実現に向け、計画的・継続的に努力する態度や能力を育てる。

#### 《達成目標》

- ◇授業を「楽しい」と感じている生徒80%以上
- ◇グループ学習で、友達の話聞いて考えたり、自分の考えを伝えたりしている生徒80%以上
- ◇ノートに学習のまとめを書いている生徒90%以上
- ◇自主学習を提出する生徒70%以上
- ◇学校評価アンケートで「授業がわかる」と答える生徒90%以上
- ◇県学力診断のためのテスト5教科の正答率の経年変化10%以上
- ◇校内テストの正答率55%以上

#### 【具体的な施策】

- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善についての校内研修の充実
- ・少人数指導、T.Tの実施（英、数、体等）
- ・空き教室やフリースペースの有効利用
- ・「江中スタイルブック」の作成や学習規律に関する掲示物の工夫
- ・「家庭学習の仕方」「中学校の授業マニュアル」の活用や出前授業を通じた小中連携の推進
- ・自主学習ノート、生活の記録を活用した学業指導（「まとめる」「覚える」「使う」「やり直す」）
- ・朝学習、テスト前後の補習、学びの広場等の充実
- ・行事日程の精査による授業時数の確保

### 《学校重点項目②》

#### 豊かな心育成プロジェクト

- ◎ 生徒が自分のよさを発揮できる主体的な活動の場を積極的に設定し、自治力と公德心を育む。

#### 《達成目標》

- ◇「学年公約」「学級公約」を進んで実践している生徒80%以上
- ◇委員会活動に自主的に取組む生徒90%以上
- ◇進んで清掃に取組む生徒90%以上
- ◇あいさつする生徒90%以上
- ◇進んでボランティアへ参加する生徒70%以上
- ◇ケータイやスマホを使用するルールを家の人と決めている生徒80%以上
- ◇Q-Uテスト（2回目）における不満足群の生徒15%以下
- ◇Q-Uテストにおける変容ベクトルが右上向きの生徒80%以上

#### 【具体的な施策】

- ・PDCAサイクルを重視した公約実現運動の推進
- ・委員会による学校改善キャンペーンの充実
- ・体育祭、若徳祭、クラスマッチ、江戸パンボラ等の充実
- ・あいさつ運動の継続
- ・Q-Uテストの実施、分析、活用
- ・校内環境美化の一層の推進
- ・道徳の時間や学級活動の授業公開（各年1回）
- ・部活動の充実
- ・認知症教育、がん教育、情報モラル教育の推進
- ・学校行事やふるさと学習に関連した総合的な学習の時間の単元開発

### 《学校重点項目③》

#### 自己実現プロジェクト

- ◎ 適切なキャリア教育を核として、夢や希望をもち、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる。

#### 《達成目標》

- ◇「夢や目標をもっている生徒」3.5以上
- ◇「夢や希望の実現のために努力している生徒」3.5以上（学校評価アンケート）
- ◇第1希望に沿った進路決定ができた生徒85%以上
- ◇自分自身の成長を自覚している生徒75%以上
- ◇学習コース、学習方法、学習形態等を自己選択している生徒85%以上
- ◇将来の夢や希望、生き方等について友達と語り合っている生徒75%以上

#### 【具体的な施策】

- ・キャリア教育を核とした総合的な学習の時間の展開  
1年「様々な職業 様々な生き方」  
2年「働く意義って何だろう（職場体験）」  
3年「自分に合った進路を選択しよう」
- ・職業人に話を聴く会、卒業生に話を聴く会、保護者参加型の進路学習会の開催
- ・全学年における進路指導コーナーの設置
- ・進路個票を活用した進路相談、教育相談、三者面談、二者面談等の積極的実施
- ・生活の記録を活用した生徒の内面的理解の深化と個別指導の継続
- ・手紙やメッセージカードを活用した周囲への感謝の心を育てる場の設定

## グループ目標・自己目標へ

## 学校評価、教員評価、人事評価とのリンク

## 《重点項目》 《安全・安心な開かれた学校づくりプロジェクト》

- ◇各種便り、ホームページ、メール配信等を活用した情報発信
- ◇学校評議員や学校関係者評価委員を活用した学校改善
- ◇スクールサポーターによる各種ボランティア活動の推進
- ◇多様な形態による自由参観日や親子ふれあい活動の実施
- ◇地域の人材・外部講師を活用した授業の推進
- ◇地域主催の行事への積極的な参加
- ◇小中連絡協議会、計画訪問における授業公開、合同引渡訓練、PTA江戸崎さわやかネットワーク等を通じた小中連携の推進

- ◇地域と連携した防災教育の充実
- ◇現地指導を基本とした安全教育の推進（危険予測能力、危機回避能力の育成）
- ◇外部コーチと連携した部活動の組織的・継続的な運営
- ◇学校生活支援員、いじめ体罰解消サポーター、稲敷警察署、児童相談所等との積極的な連携
- ◇スクールコンプライアンス推進委員会を核とした職員研修の充実
- ◇保護者と一体なった薬物乱用防止指導、情報モラル教育の推進